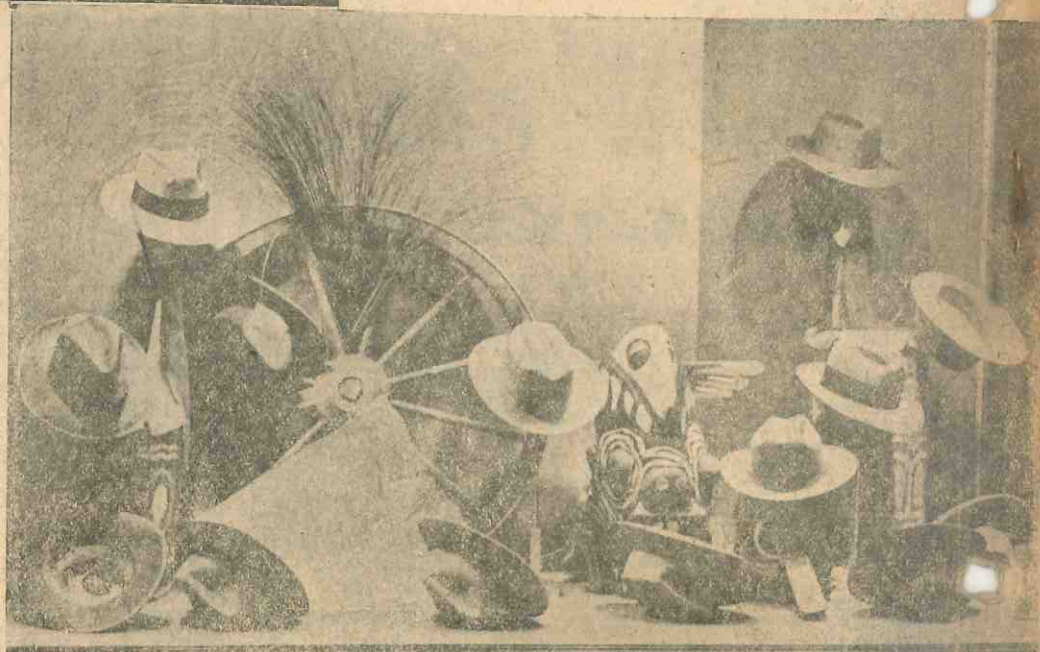


NEW HAT

ニューハット

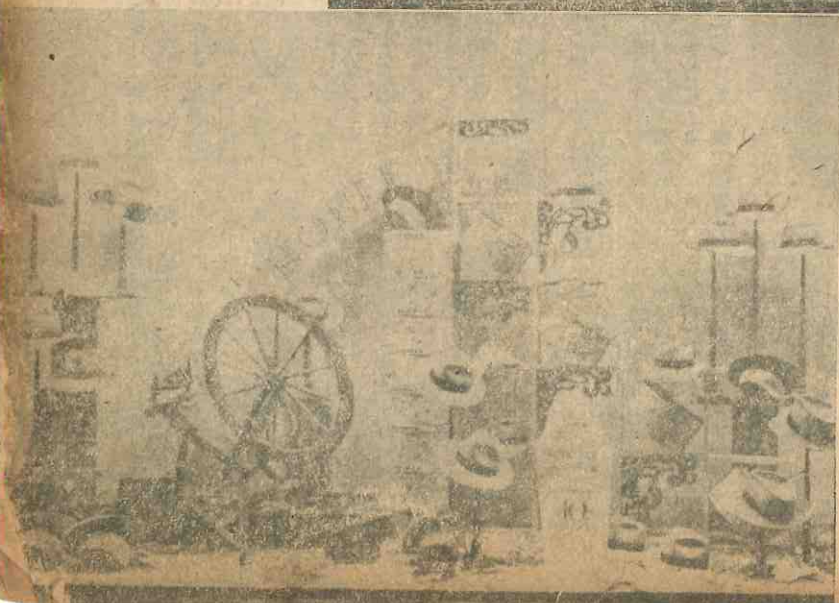
第6号 (昭和24年3月20日) (定價1部20圓送料別)
 (半年100圓同)
 (昭和23年11月19日第三種郵便物認可)

寫眞は上段、中段、下段共本文13頁参照
 1948, 11. HAT LIFE ユリ



目次

- 帽子小賣店巡訪記..... (3)
- 帽子研究室..... (7)
- アメリカ便り..... (12)
- ハットライフの通信..... (8)
- 帽子夢想録..... 今村信吉 (16)
- フェルト製帽業者座談會..... (14)



TOKYO-MOOD.

フット帽は小島商店へ

(カタログ進呈 東京都浅草小島町1-13)

帽子協會の

百萬圓宣傳始まる!!

帽子協會が出来て半歳になろうとしている。趣意書に掲げられた事業のいくつかは着々と実行にうつされていく。然し、何分にも會員の僅少なる會費を以て運営されている協會ではあるし、會員も、ニュー・ハットを講讀される一部のみにすぎないのであるから、帽子を研究し、宣傳し、普及するという階程のうちで、一番の仕上げであり、しかも金がかかる宣傳には相當の困難を伴つたが、着々と實行計畫がすすめてきた。

協會はニュー・ハット新年號の「百萬圓の宣傳」提唱に應じて、帽子を被らぬ人に帽子が服装調和のキイ・ポイントをなしていることを指導普及することを企劃した。

いま、業界は實行不振にあり、市場は購賣力がない。帽子どころではないという。デッドストックの山をかまえて、ダンピングさえもやろうとしている。メーカーは、資金を極度に運営しても少量の資材を買いとらねば

ならない。金融の引締が、決定的に資金をこげつかしていき、こんなときに、一文だつて宣傳に出せるものか、商賣が大切だ、他人なんか構つていられるか、— そう思いがちになるのも止むをえないが、とに角やらねばならぬ。

我々が新聞をみると、最近とみに大きなスペースを宣傳廣告にあてるようになったものに、雑誌、書籍がある。これは帽子と同じく、戦後の好景氣が崩れて、昨年あたりから返本が急増し、ひどいのは八、九割というのさえ出てきた出版界が、死力をつくしての宣傳である。賣れるからの宣傳では絶対にないのだ。

帽子協會が此度實行する宣傳は、實はこの出版と一味相通する背水の陣を布している。百萬圓の購賣をえることは會員以外からも賛同をえたいと念願している。たゞ、寄附者の芳名は一切宣傳には使われぬ。個人の宣傳、一會社の提燈持ではないからである。

- 協會で立案した宣傳計畫の大綱を概略すると、
1. 日劇帽子シヨウ——日本院場で四月四日より二週間、各種の帽子を取り入れて宣傳する。題は「お洒落王國の帽子」
 2. 帽子祭——五月一日より五日を期して全國一齊に帽子祭を行う。同時に運動會、上野に於てひらき、會員及従業員の慰安をする。

3. 街頭放送——銀座等部内三〇ヶ所で行う。
4. 街頭宣傳——先月號々外に示した通り、目拔場所の新宿、澁谷、浅草、上野、銀座等を新しい帽子を被つて数人が一團となつて行進する。
5. ポスター——卸を通じて小賣商に配布する。
6. 車内吊ポスター——省線、地下鐵等に、春

帽子から始るとは限らず年間を通じての計畫となつていれるものもある。いずれにせよ、宣傳は緒についたばかりである。今年また種が、今年みものとは限らない。我々は、芽が出るまで種をまきつゞけよう。今年の教訓を來年にかして、もつとよく播こう。途中でやめることは、いまままでの努力を水泡に歸せしめることだ。

「帽子協會會員(小賣業者)に壹個御送りいたします」

一、奉送方法○新規入會の方は昭和二十四年一月より昭和二十四年九月まで、九ヶ月分會費金七百五十圓を拂込。

○既會員は昭和二十四年四月より昭和二十四年九月まで六ヶ月會費金六百圓を拂込。

右會費を御取引の卸業者(帽子協會員)に御拂込み下されば、協會より直送いたします。萬一帽子協會員の卸業者に御取引なき節は協會の振替東京一〇三九一を御利用下さい。

二、組立の説明○使用電球は必ずつや消四〇ワット以内。

原色、原色廻轉式電氣スタンド

○原色廻轉式電氣スタンドの構造は電球の上に針金の傘がついてその先端を、廻



帽子は「ばん目立つもの」

橙緑紫黄の六色、長さ約十センチ。徑七・五種の圓筒である。徑七・五種の圓筒である。徑七・五種の圓筒である。徑七・五種の圓筒である。

三、新規入會員には帽子協會員章(バッヂ)壹個と、小賣業者にとつて有益參考の記事掲載の「ニューハット」誌を毎月郵送いたします。

四、會費は昭和二十四年四月より一ヶ月金壹百圓に訂正いたします。

東京都東區淺草向柳原町二丁目一番地 帽子協會



山本帽子店

京都市左京區東大路通り丸太町上る
店主 山本 土 郎(33)

一、終戦前後の經營の苦心

古くは丸太橋と二つの店舗をもつていたが昭和初年現在の店のひとつとした。戦中應召の爲、父のみ職帽の仕立などで企業整備にも遣わす繼續していた。終戦後帽子が衣料切符の對象となつた爲に昭和二十二年十二月、衣料品配給店舗として登録し、昨年八月迄繼續した。この間、品物不足で戦争中の賣殘品、問屋のあてがいが商品を賣るようにしたので比較的容易に品不足をきりぬけた。然し、昨年六月頃より賣行不振となり、打開に苦心している。學校もあるがサラリーマンが多く客層が固定しているうえ、衣料の配給店をやつた爲にお客が入つてもたてこんでいるので餘る等の不利があつた。

品質が悪い。折ると糊がかたい爲かガタツと折れるようになる。一番目立つリボンの質が悪い。帽體との差がありすぎる。辻革とともに、少し位高くても相當に小賣のマーヅンを大きくしてられるから、よいものを使つてほしい。現在の製品には、フアーの辻革でさえ汗ですぐ駄目になる肉のうすいもの、或はトタンのように固いものがある。

流行は、若向として薄いねずみ、廣い縁、切縁が多い。折縁は細く折つてほしい。

昨年5—6月頃、東京のフー帽を某商店で買った。型がよく安く研究がある。フー帽は無地一色がよい。

三、「ニューハット」に対する意見

シヨウウィンドの裝飾をのせること。

- 會員の名簿をのせること。
- 會員に、最近の經營者の中には製造工程を知らぬ爲客にすゝめるにも、質問にも自信がもてぬから、積松あたりの工場を見學させて研究する機會を與えてほしい。
- 四、仕入
- ① 製造、問屋の申込に對して京都の小賣屋が共催する見本展示會を昭和二十二年から開いているが、そこで直接問屋に發註することになる。
 - ② 手持商品一覽表は作つていない。
 - ③ 約定は數量のみ、しかも中折に限つて幾分できるが、すべては展示會でやられる。
 - ④ 棚卸はシーズン毎にやる。
 - ⑤ 商品の回轉率は年三回位一回に一ダース平均に仕入れれる。追加補填は勿論やる。學生帽は二月二十五日から三月二十五日の間に、學生帽賣上の八割を賣る。
 - ⑥ 共同仕入までいたらず見本展示會の利用だけが、支拂期日はつきりさせられるので便利、但し、展示會は中折だけである。
 - ⑦ 運賃は東京のは買主負擔。
 - ⑧ 商品の仕入割合は、學帽七、中折二、子供鳥打。
 - ⑨ 販賣

高級婦人子供帽子専門卸

東邦帽子株式會社

東京都中央區日本橋村松町二十一番地
東京都中央區日本橋區淺草橋支店
帝國銀行淺草橋支店
千代田銀行馬喰町支店
取引銀行

調査要項

- 一、終戦前後の經營の苦心
- 二、帽子についての要望
- 三、「ニューハット」に對する意見
- 四、仕入
 - 1 方法全般
 - 2 手持商品一覽表
 - 3 約定仕入
 - 4 棚卸
 - 5 商品の回轉率
 - 6 共同仕入
 - 7 運賃の負擔
 - 8 その他
- 五、販賣
 - 1 方法全般
 - 2 掛賣及出張販賣
 - 3 賣上豫算の立て
 - 4 賣出
 - 5 ストック及販賣品の運賃
 - 6 返品
 - 7 その他
- 六、宣傳
 - 1 方法
 - 2 宣傳費と賣上との關係
 - 3 その他
- 七、人事
 - 1 店員數
 - 2 採用の條件
 - 3 店員の實務
 - 4 その他
- 八、サービス
 - 1 型付鑄造等
 - 2 無料配達
 - 3 包裝
 - 4 その他
- 九、商品の整理方法
- 十、チェーンストアに對する意見
- 十一、將來の經營の構想

④ 戦前は掛賣も出張販賣もあつたが、現在品物がなく買主がサラリーマンで購買力がなく、また外交をすることに上つて、帽子がでるのでやつていない。帽子が安くなければやりた

⑤ 売上概算は昨年の前半期は、前年度売上上の五割増でよかつたが、現在は、ストックと見合にして略々同額になつてい

⑥ 年末、盆、春先に一割引で賣出を一週間位やつた。客がふえて、引續いて寄つてくれるから効果はあると思うが利益はない。サービスの爲、宣傳にする位である。

⑦ 店には商品を生ダース単位に出して、賣れるたびに補填している。

⑧ 返品及交換はない。

⑨ 在庫をはかすことに注意し、新しいものを前に出す爲、いつも残るものが残りつゞけることを防いでいる。

六、宣傳

① 一年に二回平均で専校新聞にだけ廣告している。

② 宣傳費は売上實績の三位。

七、人事

家族で經營。
帽子を被らぬ人、ニューハット、他の店舗(價額は百貨店、裝飾は小賣店)をみて實務を研究しているが、販賣等の具體的經營法について教えてくれる人

がない。

八、サービス

① 型付、無料でやつている。クリーニング等は有料。

② 被つて歸るので配達は必要ない。

③ ハット袋だけの包装をサービスしている。

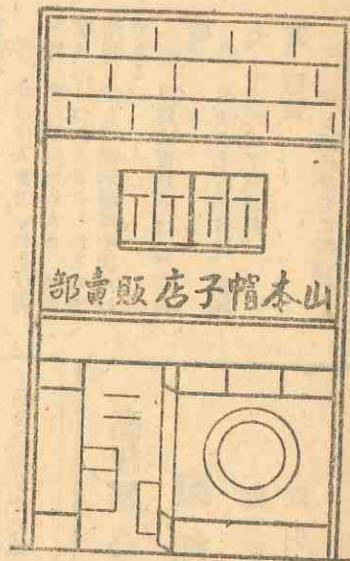
④ 季節でない帽子をお客の要求で預つてはいるが、それによつて顧客名簿を作つたりはしていない。

九、商品の整理方法

シーズン終りに整理、店内は一貫した整理はしていない。

十、チェーンストアに対する意見

現在、市内の二店と協同してやる計畫をもつてはいる。



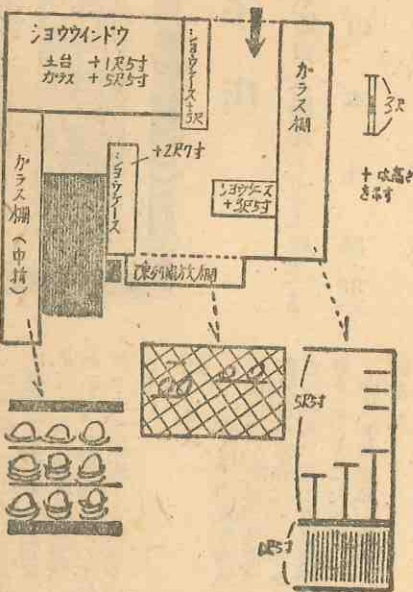
(スケッチは山本帽子店前景)

改造意見
ウィンドウを狭くして入口を二つにし、入りやすくしたい。

カワロウテ20
地方出高迅速

ガラスショーケースと
店舗の装備
設計・施工
合資会社
茂本製作所

東京都千代田区神田豊島町4
電話 茅場町(66)2535(豊島町時)



(山本帽子店平面圖)

帽子マーク
田中の特殊
金銀箔押
田中金版印刷所
田中勝三郎

台東區淺草小島町二ノ十五

眼底
革
頤紐
は
定評のある
山達商店
中央區日本橋村松町十八
電話茅場町(66)2480番

製本
アイバー
帽子見本
毛のランク
発売元 盛谷製作所
東京都千代田区神田豊島町四番
電話茅場町(66)101011
都電馬喰町或ハ豊島町下車

河村帽子店

神戸市生田區三宮町一丁目一七ノ四
店主 河村 柴 勝

一、終戦前後の經營の苦心

既に二十年位、小賣店として營業している。舊店舗は現在の店の筋向にあつたが戦災で焼失した。借家であつたが、企業整備にもあわず繼續していた。焼失後は帽子の小賣が面倒なので轉換しようとし、色々の仕事をした。然し、何をしても自信がなく損をする或は利益が少なくなるというので、段々景気が悪くなると共に駄目になつた。そこで、もとの帽子をやろうとしたが、資金をつぎこんでやつてもどうか分らぬ状態だが、駄目ならば家も賣つてしまふという決心で、最後のダウン場においてめられてやつた。

現在の店舗は昭和二十二年五月に建てたものだが、土地は野原になつていて、戦後すゝめられて借りていた土地であつた。當時、世間では食うことに没頭して帽子は賣れぬと思ひ、遅れて營業してもよいと考へていた。商品は、店を建てる前から買つてついでにやつたが、品物を出廻つた頃だつたので、自分の要求が曲りなりになつて通つた。従つて、帽子小賣店の開業にはそれ程の困難もなかつたがもう一年も早くやつておけばと

二、帽子についての要望

現在、仕入の大部分を有名會社製品によつてはいるが、名のない時製品と比較してどこな品があるからで、品質と値段がよく合つてはいる。長年の経験で友人好みをつくつてはいる。他の會社は一貫作業でなく、原料も粗末だ。

四、仕入

① 帽子の小賣は簡單である。問屋がつてきた見本によつて、自己の店に合ふ、即ち、客筋に合つたものを、ネゴロに合せて仕入れることである。元町方面の一流の客がこぬこともないが、自己の店の格式に相應したもの仕入れることである。

② 手持商品一覽表はやつてない。一ヶ月一回調べることによつて補つてはいる。

③ 約定仕入はしていない。問屋の都合でうまくいかない。現物仕入が一番よい。約定するもの信用のおけない店に代用品をよこしたりして、色合もあわぬと文句もいいたくなる。

④ 翻卸は年二回、夏物、冬物の終りにやる。

⑤ 商品の回轉率は年に四乃至五回。回轉のよいのは多物の中折、子供帽子は割によいが、残るものは残り易い。

⑥ 共同仕入はやつてない。神戸近邊の町をも含めて神戸帽子振興會を作つて、月一回、問屋を入れて帽子の展示會をやつてはいるが、共同仕入までにはなつていない。

⑦ 商品は問屋又はメーカーが運ぶ。従つて運賃はかからぬ。

⑧ 帽子の仕入れる数の比率は次の通り。

中折：約三割 子供：約三割
學帽：約一割 烏打：約一割
スキー：約一割

中折が主であつて、右は多物の比率である。中折は年に約五十打であるが、合物は多物の二三割位である。多物は十二月半に仕入れを定めるが、一、二割餘分に仕入れられている。

⑨ 漢然と、その時の流れによつてやる。店頭は整理裝飾に

資金關係

① 手不足であるし面倒だから掛賣などやらない。お客が来るらしいことは、よく来るので分るが、名簿も作らぬし宣傳等もしていない。

② 売上概算はシーズンの仕入れのときにたてるが、月別豫算であり、昨年の売上數量を用いるが、大體に誤らない。一、二割餘分に仕入れられている。

③ 商店街としても、個人としても、賣出はやらない。一軒だけやつても客の吸収は出来ない。

④ ストックは賣品の三割位であるが、子供が一番多い。販賣中のもの、在庫はもちたいが

六、宣傳

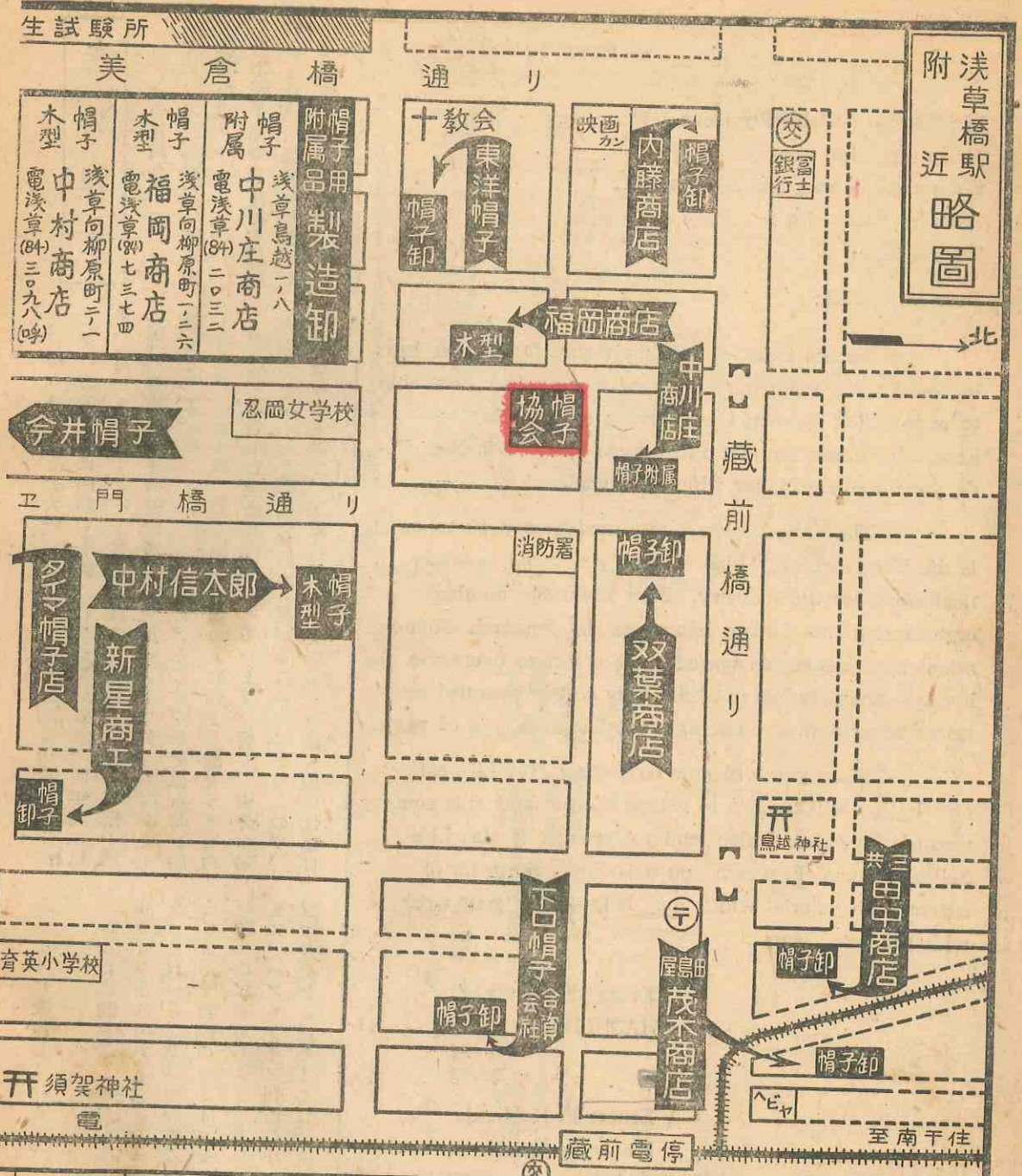
やりたいが、金をかけるよりも商品を安く考へてはいる。店

フード帽子

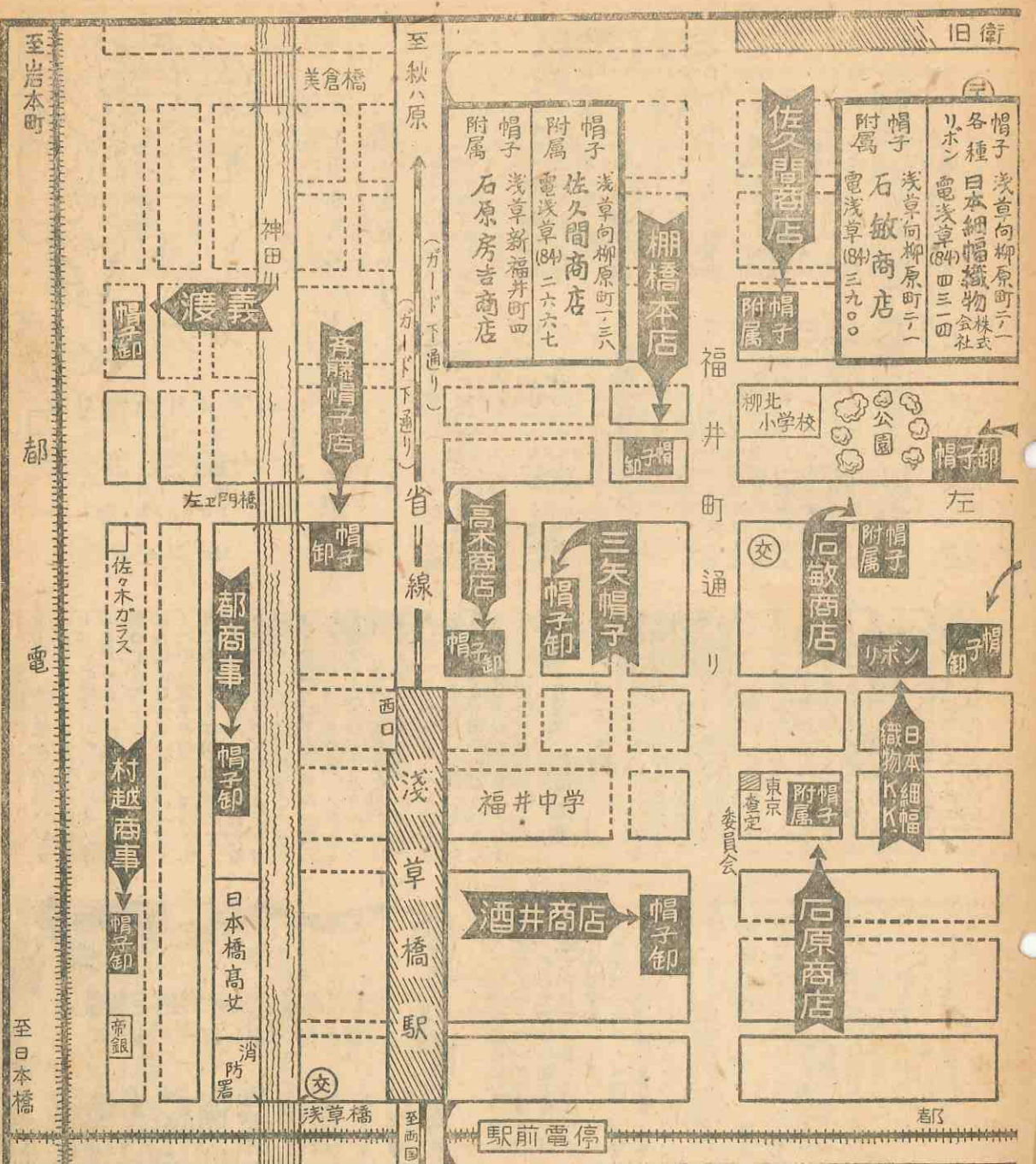
どこにも負けぬ 勉強の店!

フード帽子
製造販賣
吉敏帽子工業株式会社
東京都豊島區浅草島越町二ノ二五
電話 浅草(84)八四六三番

浅草橋駅 近略圖



浅草橋前二一九 鶴林商店 電浅草(04)四四〇七	浅草橋越二一九 三田中商店 出張所仙台市土樋九六	浅草橋越二一九 内藤良平商店 電浅草(04)一五八七	浅草橋越二一九 双葉商店 電浅草(04)〇六六〇	浅草橋三、七 下口帽子 合資会社	浅草橋越二一九 東洋帽子株式会社 向柳原一、十八	浅草橋越二一九 新星商工株式会社 電浅草(04)三三三二六三七	浅草橋越二一九 今井帽子株式会社 電浅草(04)三二八二
--------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	------------------------	--------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------



浅草橋越二一九 浅草藤帽子店 電浅草(04)五六九八	浅草橋越二一九 日本橋馬喰町四、十一 株式渡義 電浅草(04)七四二一	浅草橋越二一九 日本橋馬喰町四、五 都商事株式会社 電浅草(04)七八五三	浅草橋越二一九 日本橋高女 消防署	浅草橋越二一九 酒井商店 電浅草(04)八四三二	浅草橋越二一九 高木商店 電浅草(04)六三〇三	浅草橋越二一九 三矢帽子店 電浅草(04)八四三二	浅草橋越二一九 浅草藤帽子店 電浅草(04)二二三四	浅草橋越二一九 酒井商店 電浅草(04)二二三四	浅草橋越二一九 太陽印帽子 電浅草(04)一六〇九	浅草橋越二一九 タイマ帽子店 電浅草(04)一六〇九	浅草橋越二一九 棚橋本店 電浅草(04)二二三四
----------------------------------	--	--	-------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	--------------------------------



アメリカ便り
編集部

1948.11 號
Hat Life より

ヘンリー・レッド、ソックス軍に帽子を冠らす

ニュー・イングランドの帽子小賣商ヘンリーは、全国一流の青年野球選手二十二人に獨力で帽子を賣つてい

る。
マサチューセッツ州、リン市の帽子屋ヘンリーは背の低い男だが、此の夏、全国の帽子業も一考あつてしかるべき一かどの仕事をやらした。彼は、二十二人の一流運動選手、つまりボストン・レッド・ソックス野球チームの全選手に帽子を賣りつけた。

無帽の選手たち

「リン市やグラウセスター市の青年たちが崇拜これおこなわざるところの選手たちが、こんなにも多く帽子を冠るまいとしていた時に、どんな都合にして自分の店の帽子を冠らぬ青年達に買つて貰つたらいいのだらう」と彼は獨り言を言つてみた。
大抵の帽子屋達も小首をひねつて考え込んだ事だつたらう。然しヘンリーには名案が浮んだ。
彼はスポーツ界に澤山の知己を持つていて、その中にはレッド・ソックス軍の三壘手、ジョニー・ベスキーがいた。野球シーズの價最中のことだつた。ニュー・イングランドの入達が擧つてボストン・チームの應援に血眼になつていた時、ヘンリーはその選手の何人かに帽子を見に来るように頼んだ。
その翌日、ベスキーは六人のレッド・ソックス軍の選手を連れてリン市に現われた。ヘンリーは餘りにも早く彼等が現われたので嬉しさの餘り茫然としたがすぐさま仕事にとりかゝつた。ところが彼らはなかなか買おうとはしなかつた。青年選手達は、之まで氣に入つた帽子など見たことがないと言つた。何れにしても、帽子の冠り方なんか忘れてしまつてゐる、と附け加えるのだつた。

ヘンリー、帽子の賣りつけに成功

ヘンリーは商賣のウンチクをかたむけた。まるで醫師のようになつて、各人にびつたりした帽子の型をすすめ、どうしてこの型があなたにむいてゐるかをコンコンと説明し、各々の言のままの註文を受けた。
數日して註文品は發送された。ベスキーやその仲間達はスマイト極まる帽子を冠つて皆のドギモを抜いたので、次第にレッド・ソックスの選手達はヘンリー帽子店に行つて帽子を買おうと思ふようになつてしまつた。今やヘンリーは彼らの中の二

商賣の効果

彼の異常な功績は全国の帽子業者の提灯持ちをしてやつたこととなつたが、これがヘンリー自身の商業の莫大な利益となつたことは勿論であつた。
リン市の彼の本店は帽子だけを賣つてゐる。(但し御得意にサービスする爲に若干ネクタイを並べてはいるが)そして此處

十二人に帽子を冠らした。そして又數名にハンチングを賣りつけた。そして四名の選手は以來追加註文をしてゐる。服装が一段とはなつて嬉しいと言つてゐる(後記)。このチーム内の有名な二人の選手はまだ帽子を買つていない。しかし、(とヘンリーはうそをいふぞ)今にきつものにしてやるぞ。)

こそれはレッド・ソックス軍の大部分が買ひにやつて来る店となつた。
フアンやサイン蒐集狂たちは選手が店内に居る間、店の正面の道路に屯してゐる。そして多くの者は店に飛び込み、彼らの英雄の側に居るのを誇るのだつた。
何んと言つても宣傳上手のヘンリーは、リンやグラウセスターの新聞紙上に、彼らが自分の店を訪問してゐる寫眞や記事を掲載した。その結果、夏の間彼に會つた事のある十人の中九人までは言ふのだつた。「おい、おれはレッド・ソックスの選手が君の店で帽子を買つてゐるのを見たぜ」。かくて、レッド・ソックスのみならず、客は皆ヘンリー帽子店を訪れ、彼らと同じく帽子を買うのである。

絞切型の色の中からケバケバしい色が男達を驚かした

人々に帽子談議をさせるためジョー・ウインドウに注意を引かせるため、そして帽子の内容を増々充實するために、アダム帽子店では今年、秋向きの帽子を宣傳するために新しい考を實行した。

通りかかりの人々の眼を引くために、さまざま程烈しい色彩が店頭飾つてある。黄色、眞紅、紫、青銅色、赤、緑等々の帽子がウインドウの要所に飾られた。アダムはこの帽子を賣るのが目的でないの言うまでもない。又新聞にも廣告など出さなかつた。突飛な色の帽子を

(表紙上段寫眞を参照)

頭にいたたくとは！と先ず男達のドギモを抜いて、然る後おもむろに比較的相當なバステル風の帽子を買わせ、いつまでも長持ちする茶色やグレーの帽子を買わせまいとするのが狙いだつた。

寫眞は適當な帽子の間にけばばしい帽子を並べてゐるアダム帽子店のウインドウを示してゐる。一番てつべんのジョーカードは藝術家の筆にて描かれ、次の様に讀まれる。
「皆様方の秋の服装にびつたり合つた色合を豊富に取り揃えましてアダム・バステル」

(表紙中段寫眞を参照)

このウインドウはテキサス州、サン・アントニオ市のハツチンズ兄弟商會。

(表紙下段寫眞を参照)

は帽子が積み重ねられ、又裝飾用の中にも斜めに挿入されてゐる。パツファローのクレメンハズ商店。

西部インディアンが用いる太鼓や祝祭日用の品、馬車の車輪やその他寫眞に示すような品々を巧みに生かして並べてある。

スピナー(舊式な紡績機の車輪が左方に置いて見る人の目を引き止める。裝飾の効果をおげのために、ウインドウの中央に



ジコボウシ

- 天 國 分 暢
- 1、持丸老、少し高いけれど、部厚の帽子を奮發した。
 - 2、ある夜凶漢に饅頭で頭をやられたが、
 - 3、帽子の厚い爲に、饅頭が出来た程度で無事だつた。
 - 4、少し奮發したおかげで怪我もしない。これがホントの事故ボウシだありがたい、ありがた。

帽子界の御用には
富士銀行

鳥越支店を御利用下さい

夏帽子の仕入は
★堅く約束を守る店!
★薄利主義の店!

帽子業界
隨一の信用
壽原帽子株式会社

東京都中央区日本橋馬喰町一ノ一
電話 茅場町 (66) 〇九一七・七〇〇
電話 茅場町 (66) 一七〇〇・六八四〇

出張所(小樽市入船町一ノ七)

帽子の御註文は是非當店へ
フールド及一般帽子製造卸
久保田安彦商店

東京都墨田區鳥越二ノ一九
電話 淺草(84) 八八九四番

フェルト製帽業者を囲む座談會 (下)

日時……昭和二十四年一月二十七日午後三時十分より五時十分位にいたる。
場所……帽子會館三階

帽子協會
主催

出席者

東京帽子株式會社工場長	近藤竹太郎氏
東京帽子販賣株式會社販賣部長	門脇 義夫氏
帝國製帽株式會社工場長	大石 良治氏
帝國製帽株式會社東京出張所長	中津 三郎氏
帝國製帽株式會社技術員	丸山 長次氏
東京製帽工業株式會社	高橋 久氏
主催者 (小賣業者)	
司會 大徳帽子店	米田 一雄
カワシマ帽子店	川島 勇吉
クラウン帽子店	竹内 稜
トラヤ帽子店	八福 康平



生産の隘路

司會 作られる上での隘路、逆な苦情を何か、我々におつしやつて下さい。原毛が少い詳細な説明を皆様から聞いて納得いたしました。その他に困るもの共通點を

高橋 ノイルが

司會 石炭は

近藤 それもありです。

司會 人件費は

門脇 それもふえています。生産がさがらずに増えるんです。

司會 輸出関係の帽體で多く出ないという事になります。

門脇 それもありますね。司會 それをやるから出来ることになるとは、やないかな(大笑)。

門脇 それもありです。司會 なるべくよくこの隘路を小賣屋に知らせておくことが理解を増すことになり、たゞないだけでは、戦後の状態のようなことを再び押付けてはいけませんね。

門脇 足りないのは原料で、ストックを食いつくしたからです。あるのは輸入品で、その中から作っている、餘分に作っているんです。

技術面の総合的觀察

司會 そこで総合的にお聞きしたいんですが、戦前に比べて一般商品の技術が低下してはいますが、殊に製帽関係で技術が低下していることはありませんか。

近藤 私のところにはありません。

門脇 おいおい戦前の水準にかえつてくるでしょう。

中津 戦災を受けているのとないのでは大きなハンデキャップがあります。

司會 工場は?

中津 それも同じだ。

司會 私は戦災工場を対象に考えているんですが、復活までまだ時間がありますか。

中津 そろはからかぬでしょう。

ハービス時代来る!

帽子店 洋品店の包装紙器

帽子袋	大・小	函	函
フード	折	一	ケ
中	木	タ	イ
其他	其	種	各
		種	種

東京都千代田区
神田区二丁目九番

株式会社 双葉印刷紙業社

大石 ぼつぼつよくなります。原料の分量だけでなく質的に問題でして、その急にはかえれませんが、フアーはアングラを主とし、少しは以前のように内地の野兎毛を使つてもアングラが主で研究すれば以前のようにサラットした感のものでできます。少しならば以前のような野兎毛も出来、司會 原料関係になりますか、靴がや、標準に戻つてきて、フアーと靴とは大體同じ値でしょう。

中津 いや靴が高い。

司會 いや、価格を標準で、耐久力で靴が二年もつたら帽子もそれだけでもねば、いまウ

門脇 戦前の中級位でしょう。

高橋 各社の輸出帽體の品質は戦前の水準になつていないんじゃないですか。

司會 それもある。一方我慢できぬものだが、

門脇 戦前の中級位でしょう。

改革その他

司會 最近はこちらの空気になつてきているんですが、フアーには本革は使えませんが、使用についての規則があるからですか、お互いに研究しましょう。

門脇 大體フアーには本革がつくようになってきます。

司會 うるさいんですか。

司會 製品を逆にして買えるようにして欲しいんです。ウールはそこ迄いつているんだから、フアーをもう少し耐久力のあるものをもっと進んでいるので、耐久力の點で、戦前より遙かに劣つていますね。最近輸出と同じ原料を使つたウールは中級品迄かえつて、相違ありません。

門脇 原料関係が影響しているんです。

丸山 ウールとフアーを實際に造つて見ると、原毛の悪いのが目に見えています。輸出の見本をみても程腕前が自分にはあるんだと分つていますが、悪い原料をやつてみると出来ないうです。これではいかんと思つて、

中津 製造屋の方で買つて貰うのだから、耐久力を出したいと思つて努力している断を買つて欲しいですね。

司會 三千万以上は裏がついて

門脇 あれは別に賞費をとつて

司會 大阪と東京の雰囲気は違

門脇 大阪ではあれも作れ、こ

司會 大阪の一部の小賣屋は鏡

門脇 切らないで仕入れ、獨特のデザインは器用な家庭工場

大石 革をつくる方が我々よりうるさいんです。

門脇 リボンと同じで少いものではできないが全部には骨が

司會 ゴム玉綴の折かえしを深

中津 なくなるでしょう。ゴム

玉は、

大石 資材の入手難もあり

司會 レザーも一年たつと帽體

に色がついてしまうものあり

門脇 塗料の関係かな。

司會 この點御研究をお願いし

門脇 裏をつけているんですが、皆

さんはやられますか。

門脇 準備はしています。

司會 加工業者は數的に少ない

門脇 のを扱うからやれるんだが、

然し最近大阪では裏付が店頭

に列んで居ります。

門脇 小賣が希望しているん

です。

今年のニューファッション

司會 大體今年のスタイルは春物としては今から話かけたんでは遅いんですが、切替五〇%折替及びリボンベリ五〇%となつてくるようです。

色も黒でもねずみ八〇%、茶二〇%、うちねずみ茶何分

か入ればよいという状態になつています。

門脇 それは春物ですか。

司會 それは冬にもおしいけ

るんじゃないですか。

近藤 鰯はどうですか。

司會 少しつまつてきたんぢや

ないですか。中心は二時半で

特殊ものは二時半以上ぢや

ないか。

門脇 こちらからお尋ねするん

ですが、頭が大體現在では、

1/4、リボンは二時半から

二時四分、鰯は二時半から

二時八分、五になつてい

るんですが、この次の流行傾向を

ハットライフなんかでみると

カレットハットは二時位で

す。

司會 それから糊のせいと思

いますが、天張が浮いているの

が、それからこれは

帝帽ですが、遠距離の関係も

各種帽子製造卸

優秀フード帽子

石井帽子工業株式會社

東京都東區淺草三筋町二ノ三 電話淺草(84)八四六番

あると思ひますが、雑話の點で、だるうと思われ、のに鰯の腰がおちるといふのがあり、研究が足りませぬ。

中津 腰のおちるのは梓のこともあるでしょうが、

司會 そんなこと外に、荷造の加減が大阪のものに抜荷も多いんです。荷造も注意して下さい。マージンもあることだし、その中で研究して下さい。

大石、高橋、中津、資成、近藤、門脇、是非やつて下さい。司會 一時間半にわたりいろいろ有難う御座いました。

高級フード専門店

全大藏商店

大藏 義 義

三東區淺草三筋町二ノ三

電話淺草(84)八四六番



帽子夢想録

今村 信吉

個四分一の生地があるそうだが、一方物資節約の時代に之ではどうやら西瀾君の回答に敬意を表したくなる。

日本古代の風俗を語る種輪人形や、胃などから考へても、凡そ冠り物の原型は笠、銅を覆ふた形であることが一貫してゐる。そして帽子は長半球形に縁邊を添へたるものが世界的に普遍である。時には縁邊が疵だけであつたり、全然これを欠くものもある。半球型にも多種の變型のあるは勿論である。

無帽、裸頭は文化的でない。若し人が漆黒の髪を美しく分けて、ポマードの香りを覆つて置は好ましいが、垢頭鬘の中年男半禿の老人などの裸頭は都市美を壞す寸がある。薄毛時代を通り越した後頭部光るところの五十男が、無帽で大道を闊歩している。いふことが振つてゐる。どうも帽子は頭が蒸せる。

かつたといへる。

婦人の頭髮がパーマネット時代になつて著しく奇異に感じさせるものがある。神代に鯨魚から出て来たもの、極端なものは煙突から抜け出したものなどがある。またネツカチーフを冠りにして銀座漫歩をやつてゐるもの、あまり美しい風俗とも考へられない。和服や島田髻が跡を絶つたともいひ切れぬ。現存の婦人風麗俗であるからには、是非帽子を婦人に冠らせて置させたい。小泉八雲先生の「日本初印象記」に人力車夫の冠り物(徳頭笠)を草形に譬へてあるが、婦人帽子には随分之れに劣らぬ草のお化け然たるものもある。この邊になると考へものだが、ベレイとかまたは進駐軍型を標準として一工夫も二工夫もしたらいふではないか。婦人警官の服装の中であつた帽子一つがいかに平和、親切を象徴してゐるか。

蒸せると充げる」と。あゝ遅いかな。も一つ無帽流行時代(第一次世界戦争直後、獨逸から流行した)に、全禿の老人眞多に裸頭でゴルフをなし、半選のころクラブを握つたまま、卒倒した。つぎり脳筋血と大ざわぎしたらば、頭の血が寒さに凍えて腦貧血であつたと一場の笑ひ話で済んだ。危いかな。

銅型

元祖帽子銅型一般
技術優秀の當店へ
佐々木銅工所

東京都台東区浅草島越二ノ二
鳥越 神社 際

バツチ類 帽章・鈕

製造販賣
山達商店
中央區日本橋村松町十八
電話 茅場町(66) 2480番

帽子業者名鑑(東部)發刊

原料、製造、卸、木型、厚生業五百餘名の帽子業者の經歷、事業内容を網羅、仕入に販賣に、なくてはならぬ案内書。
限定版につき至急申込まれたし
總クローズ製、B 6判 300頁 限定價 300圓
4月中旬に發送決定、代金は完成通知と共に拂込まれたい。
發行所 東京都千代田區神田町(双葉印刷紙業社内)
帽子業者名鑑刊行會

俳人逸話(其角の巻) 富塚 筑峰

花の山

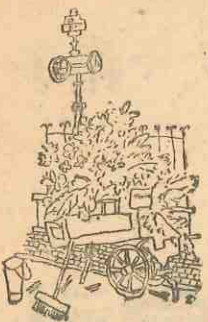
紀文大齋が全盛の頃、江戸吉原の玉屋にて豫て金屏風を造り大齋が諸藝人を引連れ来るを待ち受ける時、書家の文龍と俳人其角を伴いければ、樓主金屏風を出し文龍に書を請ひぬ。文龍酒氣を帯びし、墨痕鮮かに「此の所小便無用」と書きなぐ

女郎花

其角高野山に參詣の折、女人禁制なる奥の院まで登りしに、

竹の風戀猫さとき耳立てぬ
沈丁花出入のしげき扉鈴鳴る
立春の海波音もなく昏れぬ
本堂を一步いづれば梅咲けり
今宵まだねむれぬまゝに猫の戀
桃の花いけて貧しき雛はゆる
午近き淺間の雪ぞしまに出で

文



禿頭帽子かぶつて若返り
土曜や明日の用意のニューハット
小野田遊歩

俳句

短歌

初櫻堂のしじまを廻る朝
まなく敏る花波紋廣げくくる
風塵の街を見下ろす櫻かな

帽取れば光頭の君若からず
角帽もいづばしかぶるアルバイト
村昔柳

文藝欄投稿規定

賞金制を設けて、毎月編集部に於て審査する。天三百圓、地二百圓、人百圓とし、佳作も掲載する。
投稿は短歌、俳句、川柳、詩に限り一人一回三首句以内、原稿は本誌發行翌月の二十日とする。
俳句……陽炎、雲雀
川柳……帽子をスケッチしたもの

編集後記

……本誌第五號に對する反響が相當あるのを見て、漸く編集子の目的が果されつゝありと喜んでゐる。ウインドウ用廻轉スタンドの註文、文藝欄への投稿、小さいことながら讀者の關心の一端を示してゐる。
……「百萬圓の宣傳」が着手せられた第一日の街頭宣傳。一行三十名が日本橋白木屋の前までさしかゝるとベチリとニュースカメラマン。三月二十三日の「アサヒグラフ」にのせますよとのことで、一行大いにはりきり、ニユーの帽子を斜に人ごみの中を練り歩いた。この日、大收穫と、立案者もホクホク。
……アメリカのハットライフがら好意ある便りがあつた。美麗な小冊子で八十頁、翻譯の許可さえあれば、總アット紙で皆さんに御頒け出来ると思ふ。
……記事に讀者の投稿のないのが大變寂しい。何でも結構です。から、われわれの雑誌だといふお考で育て、載せたい。
(ニユーハット部長 河村 純儀)

發行所 東京都台東区浅草
編輯部 東京都台東区浅草
印刷部 東京都台東区浅草
代印部 東京都台東区浅草
代刷部 東京都台東区浅草
代製部 東京都台東区浅草
代装部 東京都台東区浅草
代組部 東京都台東区浅草
代刷部 東京都台東区浅草
代製部 東京都台東区浅草
代装部 東京都台東区浅草
代組部 東京都台東区浅草

麥稈一文字帽子



パナマ帽子

飯塚製帽株式會社

東京都中央区日本橋濱町三丁目十一番地
電話 茅場町 (66) 2448番 6747番

帽子の御仕入は

製造直接販賣の元祖

中井産業株式会社

東京都中央区日本橋横山町三
電話茅場町(66)〇〇七二・六八八一

高級学生帽は



Rabbit

ラビット印



昭和二十四年三月十五日 印刷納本 昭和二十四年一月二十日 發行
昭和二十三年十一月十九日 (第三種郵便物認可)

(毎月二十日一回發行) 「三ニュー」第六號 (定價 二十圓)